

最優秀

わたしと弟

新見市立草間台小学校

二年 むね森 あいさ

「あらた」はわたしの弟です。あらたはうらやましいです。なぜかと言うと、しゅくだいがないからです。わたしはしゅくだいをするときにくまなくおこられます。しゅくだいがなくてあそんでいるのにおこられないあらたがうらやましいです。

あらたはもうすぐ五才になります。けれど五才なのに時どき赤ちゃんのような声をするからおかしいと思います。いつもはふつうのしゃべり方なのに、大人の人にたいしてあまえた声を出していると、わたしの弟なのにかっこわるいと思うときもあります。また、あらたのことをいやだなと思うときがあります。

でも、あらたはわたしがいじわるなことばを言ってもゆるしてくれます。わたしが絵をかいてあらたに見せると、すごいと言ってくれるのでうれしいです。わたしは、あらたのことをいやだと思うこともあるけれど、あらたは、姉のわたしを好きでいてくれます。

わたしはそうぞうしてみました。もしあらたがいなかったら、さみしいです。自分にとって何かいいことがあるか

考えたけど何も見つかりませんでした。それは、わたしがあらたのことをほんとうはすきだと思っているからだと思いました。わたしのとくいなうんどうでは、あらたにまげたくないからがんばれるし、あらたに教えようと思うと色んなことを学ぶ力になっていきます。あらたはかわいい弟ではなくてわたしのぞみであるし、ライバルであるということがわかりました。

これからもわたしは、あらたのことをいやだと思うことがあると思うけれど、わたしとあらたはなかよしだと思います。わたしは、お姉さんだからつらいこともあるけれど、弟をたいせつに思う気もちがあります。

いつまでもあらたはわたしのたからものです。